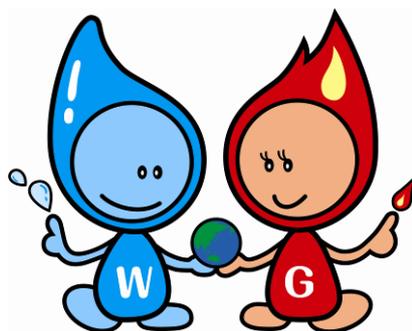


上越市簡易水道事業
中期経営計画
～ 中間目標達成状況 ～



ガス水道局イメージキャラクター
ウォータ&ガスミン

平成23年10月

上越市ガス水道局

目 次

計画達成状況の公表及び計画目標値の変更について	1
中間評価と今後の方針について	2

計画達成状況の公表及び計画目標値の変更について

上越市ガス水道局では、平成20年4月に平成26年度までを計画期間として上越市簡易水道事業中期経営計画を策定しました。中期経営計画の7. 計画達成状況の公表では、平成23年10月に業務指標を用いて中間での計画達成状況の公表を行うこととなっています。

また、平成20年7月に実施した料金改定及び料金統一に伴う経過措置が平成21年11月に終了したことにより、平成23年3月に上越市簡易水道事業中期経営計画の「中期財政収支計画」を見直したことに伴い、下記のとおり、業務指標の平成26年度計画目標値を一部変更します。

<計画目標値を変更する業務指標>

業務指標	単位	変更前 目標値	変更後 目標値	変更理由
施設統廃合率	%	0.9	8.0	中間実績が計画に対し大きく進捗したことによる変更
職員1人当たり 給水収益	千円/人	26,568	28,263	中期財政収支計画見直しによる変更
未納金縮減率	%	35.5	70.4	中間実績が計画に対し大きく進捗したことによる変更

中間評価と今後の方針について

中期経営計画「4. 主要施策と目標」に設定した目標値と実績値を比較し評価します。

※朱書きした値は計画目標変更後の値です。

基本方針1 安全で安定した供給

「基本方針1 安全で安定した供給」では、4つの主要施策の目標が設定されています。実績値、評価及び今後の方針については、下表のとおりです。

主要施策① 老朽化施設の更新							
有収水量が減少するなかでも、安定給水のため老朽施設の更新は避けられません。既存施設を有効利用しながら、必要な更新事業を行います。							
業務指標		単位	計算方法				
年間の管路更新率		%	(単年度に更新する管路延長／管路総延長) × 100				
H17 実績	H18 実績	H19 実績	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H22 中間目標	H26 計画目標
2.1	1.9	1.7	2.2	1.8	1.6	0.6	0.8
評価	〈達成〉 国庫補助金、国の景気対策の交付金を活用し石綿セメント管、経年管などを更新できたことにより各年度とも目標を上回ることができました。						
今後の方針	今後も安全で安定した給水を行うため、計画的に更新を行います。						

主要施策② 水道施設の耐震対策							
新潟県中越大地震、新潟県中越沖地震の経験を踏まえ、主要施設の耐震化を図ります。							
業務指標		単位	計算方法				
管路の耐震化率		%	(耐震管延長／管路総延長) × 100				
H17 実績	H18 実績	H19 実績	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H22 中間目標	H26 計画目標
6.2	7.4	9.1	11.1	12.7	14.2	15.3	18.5
評価	〈未達成〉 国庫補助金、国の景気対策の交付金を活用し石綿セメント管、経年管などの更新を積極的に行ってきましたが、中間目標を達成することができませんでした。						
今後の方針	今後も安全で安定した給水を行うため、計画的に非耐震管の更新を行います。						

主要施策③ 適正な水質管理							
安全でおいしい水を供給するため、計画的な水質検査を実施し公表します。							
業務指標		単位	計算方法				
水質基準不適合率		%	(水質基準不適合回数／全検査回数) × 100				
H17 実績	H18 実績	H19 実績	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H22 中間目標	H26 計画目標
0	0	0	0	0	0	0	0
評価	〈達成〉 管末の水質検査において水質基準に適合しないものはありませんでした。						
今後の方針	今後も適正な浄水場等の運転管理を行い、安全で安定した給水を行います。						

主要施策④ 水源保護の推進							
安全でおいしい水をお届けするため、水源地域の保護やかん養を行うほか、市民の水源に関する意識を高めるため、啓発活動に取り組めます。							
業務指標		単位	計算方法				
取水量 1 m ³ 当たり水源保全投資額*		円/m ³	水源保全に投資した費用／その流域からの取水量				
H17実績	H18実績	H19実績	H20実績	H21実績	H22実績	H22中間目標	H26計画目標
0.13	0.07	0.13	0.50	0.51	0.42	0.50	0.17
評価	<p>〈達成〉 水源保護地域内において森林整備を平成20年度から5か年で25ha行う計画としており、平成22年度は安価で整備ができたため指標値は中間目標に達していませんが計画どおりの整備を行っています。また、植林作業も実施しており、水源保護、かん養に資することができました。</p>						
今後の方針	今後も森林整備、植林など水源地域の保護、かん養に取り組めます。						
※ 水道事業を含む。							

基本方針2 お客様の信頼性向上

「基本方針2 お客様の信頼性向上」では、3つの主要施策の目標が設定されています。実績値、評価及び今後の方針については、下表のとおりです。

主要施策① 積極的な情報提供							
お客さまに役立つ情報を局独自の広報紙やホームページを中心に提供します。							
業務指標		単位	計算方法				
年間のガス水道事業の広報紙発行回数		部/件	広報紙配布部数/給水件数				
H17 実績	H18 実績	H19 実績	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H22 中間目標	H26 計画目標
0.0	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
評価	〈達成〉 広報紙「一期一会」を年2回発行し、お客さまにガス、水道事業について、情報発信を行うことができました。						
今後の方針	今後も年2回の発行を継続的に行うとともに、より分かりやすく、読みやすい紙面を作成し、お客さまにガス水道事業について興味を持っていただけるよう努めます。						

主要施策② お客さまサービスの充実							
お客さまサービスを充実するため「アンケート調査」や「水道出前講座」を実施します。							
業務指標		単位	計算方法				
アンケート情報収集割合		人/千人	(アンケート回答人数/給水人口) × 1,000				
H17 実績	H18 実績	H19 実績	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H22 中間目標	H26 計画目標
—	2.4	0.4	1.2	1.1	2.5	1.7	1.8
評価	〈達成〉 平成22年度は、10周年を記念し規模を拡大して行ったガス水道フェアやクッキング教室などで多くのお客さまからアンケートを回答していただいたことにより中間目標を0.8ポイント上回って達成しました。						
今後の方針	今後もガス水道フェアやクッキング教室などでアンケートを実施し、お客さまの「声」をお聞きしていきます。また、その「声」を活かし、お客さまサービスの充実を図ります。						

主要施策③ 環境への配慮							
上越市の水とみどりを守り、次世代に向けてこの「美しいまち」をはぐくみ、継承していくため、当市は平成10年にISO14001を取得しています。 ※平成23年8月に上越市環境マネジメントシステム (JMS) に移行しました。							
業務指標		単位	計算方法				
配水量1m ³ 当たり二酸化炭素(CO ₂)排出量※		g・CO ₂ /m ³	事業に伴う二酸化炭素(CO ₂)総排出量/年間配水量				
H17 実績	H18 実績	H19 実績	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H22 中間目標	H26 計画目標
—	111.4	106.4	107.8	102.3	93.3	144.0	143.3
評価	〈達成〉 企業団からの受水を相互融通したことにより、浄水場の廃止や休止に伴い電気使用量を削減できたため、中間目標を50.7g・CO ₂ /m ³ 下回ることができました。						
今後の方針	今後、管網整備などによる配水ルートの検討を行い、可能なものから施設の廃止や休止を行うことによりCO ₂ の排出量を削減します。						
※ 水道事業を含む。							

基本方針3 経営基盤の強化

「基本方針3 経営基盤の強化」では、4つの主要施策の目標が設定されています。
実績値、評価及び今後の方針については、下表のとおりです。

主要施策① 有収率の向上							
経営基盤確立のため、有収率の向上を図ります。							
業務指標		単位	計算方法				
有収率		%	$(\text{有収水量} / \text{給水量}) \times 100$				
H17実績	H18実績	H19実績	H20実績	H21実績	H22実績	H22中間目標	H26計画目標
68.8	73.1	73.1	74.4	78.8	78.0	76.5	80.0
評価	〈達成〉 石綿セメント管や老朽管更新事業、漏水調査の効果により中間目標を1.5ポイント上回ることができました。						
今後の方針	今後も継続して石綿セメント管や老朽管更新を行うとともに漏水調査を実施し、有収率の向上に努めていきます。						

主要施策② 施設の統廃合							
合併で増加した施設について休止や統廃合を推進し経費の抑制を図ります。							
業務指標		単位	計算方法				
施設統廃合率※		%	$(1 - (\text{年度末施設数} / \text{H17年度末施設数})) \times 100$				
H17実績	H18実績	H19実績	H20実績	H21実績	H22実績	H22中間目標	H26計画目標
—	2.8	7.0	7.0	7.0	7.0	0.9	8.0
評価	〈達成〉 施設の見直しにより一部施設を休止や廃止することができたため中間目標を6.1ポイント上回ることができました。また、廃止により維持管理費などの費用が削減できました。						
今後の方針	今後、管網整備などによる配水ルートの見直しを行い、可能なものから施設の廃止や休止をします。						
※ 平成17年度末の施設数に対する削減率を示す。							

主要施策③ 技術力の向上							
サービス水準を維持するため、職員の技術力の向上やモラルアップ（意欲向上）を図ります。							
業務指標		単位	計算方法				
職員資格取得度※		件/人	職員が取得している法定資格数 / 全職員数				
H17実績	H18実績	H19実績	H20実績	H21実績	H22実績	H22中間目標	H26計画目標
0.3	0.5	1.2	1.2	1.3	1.3	1.0	1.5
評価	〈達成〉 ガス主任技術者、給水装置工事主任技術者の資格取得支援を行うほか、合格者を講師とした講習会の開催などを行っていることも中間目標を0.3件/人上回り達成した要因の一つです。						
今後の方針	今後も資格取得支援や講習会などを行い、有資格者の異動や退職に備え、特に若年職員の技術力の向上やモラルアップを図ります。						
※ 水道・ガス事業を含む。							

主要施策④ 経営の効率化							
定員管理や料金未納額縮減などにより、更に効率的な経営を目指します。							
業務指標		単位	計算方法				
職員 1 人当たり給水収益		千円/人	(給水収益/損益勘定所属職員数) / 1,000				
H17 実績	H18 実績	H19 実績	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H22 中間目標	H26 計画目標
30,452	26,928	30,673	29,226	27,354	29,766	29,336	28,263
評価	〈達成〉 給水量が計画を上回ったことにより中間目標を430千円/人上回り達成することができました。						
今後の方針	今後も給水量の増加に努めるとともに適正な人員配置を行い目標達成に努めます。						
業務指標		単位	計算方法				
未納金縮減率※		%	(1 - (年度末未納料金総額 / H17年度末未納料金総額)) × 100				
H17 実績	H18 実績	H19 実績	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H22 中間目標	H26 計画目標
—	23.0	47.0	53.7	58.8	63.9	29.0	70.4
評価	〈達成〉 未納金回収の強化により中間目標を34.9ポイント上回ることができました。						
今後の方針	財政の健全化及び公平な負担の原則から停止処分を継続的に行うとともに、平成23年4月からは料金徴収業務委託により、民間業者のノウハウも活用しながら未納金の回収に努めます。						
※ 平成17年度末の未納金に対する縮減率を示す。							